

平成 2 8 年度
香川大学 COC 事業評価報告書（案）
（外部評価）

平成 2 9 年 8 月

外部評価委員会 実施概要

日 時：平成29年8月10日（木） 10:00～11:35

場 所：香川大学 大学本部3階第1会議室（高松市幸町1番1号）

外部評価委員：計7名（○：委員長、順不同・敬称略）（ほか本学より11名陪席）

- 益川 浩一（岐阜大学地域協学センター・センター長・教授）
- 田尾 博明（（国研）産業技術総合研究所四国センター・所長）
- 山地 耕太郎（香川県商工会連合会・専務理事）
- 桑井 弘之（四国新聞社・編集局長）
- 栗田 隆義（まんのう町・町長）
- 綾 宏（坂出市・市長）
- 工代 祐司（香川県教育委員会・委員長）

次 第：

開会

香川大学長挨拶

委員紹介

委員長選出

審議：平成28年度香川大学COC事業の実施状況及び目標達成状況について

講評

閉会

配布資料：

【当日配布資料】

- ・平成28年度香川大学COC事業外部評価委員会次第
- ・平成28年度香川大学COC事業外部評価委員会配席図
- ・香川大学COC事業外部評価委員会委員名簿
- ・香川大学の現状

【事前配布資料】

- ・資料1 香川大学COC事業評価実施要領
- ・資料2 平成27年度香川大学地（知）の拠点整備事業（COC事業）評価（外部評価）「講評」に対する平成28年度対応について
- ・資料3 平成28年度香川大学地（知）の拠点整備事業（COC事業）評価報告書（内部評価）
- ・資料4 平成28年度香川大学COC事業自己点検・評価報告書
- ・資料5 香川大学サテライトセミナー実施状況（H24-H28）
- ・資料6 平成28年度COC事業（地域志向科目）授業アンケート結果
- ・資料7 香川大学COC事業外部評価委員会規程
- ・資料8 平成28年度香川大学COC事業評価表（外部評価）
- ・参考資料 香川大学地域連携ニュースレター「せとうち」

講 評

○ 総 括

内部評価報告書（資料１）、自己点検評価（資料２）、委員会冒頭における事業報告および質疑応答を基に議論し、平成 28 年度香川大学の COC 事業は概ね計画どおり実施されたと評価した。本事業の継続実施は、COC 事業の目的達成に大いに貢献するものである。

○ 教育分野

概ね計画どおり各事業が実施されていると評価した。本事業の継続実施は、COC 事業の目的達成に貢献するものである。

当初の計画通り e-learning による地域志向科目の全学必修化の準備をすすめ、平成 29 年度には開講された点は評価できる。

瀬戸内地域活性化プロジェクトや地域インターンシップ等、意欲的で意義のある取り組みを展開しているので、今後は、低年次におけるこうした学びの専門教育への接続、学生が地域理解教育を積み上げるための教育プログラムの体系化とその可視化、フィールドと理論の往還が期待される。今後、全学的に能動学修を充実することが期待される。

○ 研究分野

計画を大幅に超えた取り組みであり、本事業の目的を十分に達成することができた。本事業の継続実施は、COC 事業の目的達成に大いに貢献するものである。

希少糖関連事業はオンリーワンの事業である一方で、競争の激化も進んでおり、グローバルな視野を備え、事業がさらに展開することを期待する。

○ 社会貢献分野

概ね計画どおり各事業が実施されていると評価した。本事業の継続実施は、COC 事業の目的達成に貢献するものである。

サテライトオフィスの事業をはじめとし、取り組みに広がりが見られる。自然史研究リーダー育成プログラムや里海大学の展開により、地域ニーズに応じた人材育成がおこなわれている。引き続き充実することが期待される。

○ 全体運営分野

概ね計画どおり各事業が実施されていると評価した。

COC 事業は平成 29 年度に最終年度を迎えるので、次年度においてはこれまでの取り組みを総括し、そのうえで、補助金事業期間終了後も本事業を継続していただきたい。事業とその成果の学内外での情報発信は、継続性の意義を広く得る機会となるため、広報活動を一層強化していただきたい。また、予算措置ならびに人材配置にも配慮することで、事業が継続発展することを望む。

以 上